まちの話題

豊岡

第21回とよおか津居山港かにまつり
冬の味覚の王者「津居山かに」海と自然の恵みに感謝!!

2月26日、第21回とよおか津居山港かにまつり(同実行委員会主催)が、津居山港小島岸壁特設会場(小島)で開催されました。

会場では、多くの観光客らがカニ雑炊やカニ汁、甲羅酒に舌鼓を打ちながら、店頭価格より割安な鮮魚セットなどを買い求めていました。

素人新鮮うまいもの競り市では、参加者が津居山かになどを格安で競り落とすたびに、大きな歓声が上がっていました。津居山かに2杯を3900円で競り落とした古賀野　洋さん(福岡市)は、「去年テレビで見て参加したいと思っていました。しゃぶしゃぶにして食べようと思います」と満足そうに話していました。

▲津居山かにや鮮魚の品定めをする観光客ら。中には15杯の若松葉ガニを買い求める観光客の姿も…

城崎

城崎リサイクルブックフェア
よかった いい本が見つかったよ

3月11日、図書館城崎分館で、不要になった本を希望者に譲る「城崎リサイクルブックフェア」を開催しました。

同分館からは桃島池や山、線路を走る電車の眺望が開け、美しい風景を楽しみながらゆっくり読書ができます。

当日一番乗りの伊東果矛さん(城崎小3年)は「楽しい本があるといいな」と言いながら、早々に好みの絵本を探し出しました。また、母子で来ていた勢溜修子さん(城崎町湯島)は「子どもは図書館を家の本棚のように思っています」と話していました。来館者はそれぞれお気に入りの本を見つけていました。

▲廊下にずらりと並ぶリサイクルブック

竹野

森本へき地保育園　桃の節句
みんなが元気に育つことを願って

3月1日、森本へき地保育園(竹野町森本)で、桃の節句の行事を行いました。

保育室に飾られているお内裏さまとおひなさまは、園児が手作りしたもので、個性豊かなものばかりです。園児たちは「私は笑った顔のおひなさまを作ったよ」「お内裏さまは格好良く作ったよ」などうれしそうに話していました。

先生からひな祭りの由来を聞いた後、みんなで歌う「うれしいひなまつり」の歌声が園内に響いていました。最後は、仲良くひなあられをおいしく食べました。

宇野詩織ちゃん(4歳)は「とても楽しかった」と少し照れながら話していました。

▲元気いっぱい歌う園児ら

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

第2回大縄とび大会 ―日高地区県民交流広場事業―

みんな一緒に笑顔でジャンプ!!

2月26日、日高文化体育館（日高町祢布）で大縄とび大会（日高地区区長会・公民館共催）が開催され、約300人が詰め掛けました。

当日は、地区代表13チームとフリー構成の3チームが参加。2分間に跳んだ回数と人数でポイントを付け、2回の合計ポイントで競います。速いペースで跳ぶ子ども会チームや、何度挑戦しても転んでしまう小さな子どもを抱きかかえて跳ぶ親子チームなどがあり、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。2連覇を達成した「12ファイターズ」の南　大紀君（日高小6年）は「チームワークがいいので勝つ自信があった」と胸を張りました。

▲会場に詰め掛けた応援団の「1、2、3…」の掛け声に合わせて跳ぶ参加者たち

出石

環境学習授業

コウノトリと豊岡の魅力は子どもたちに伝わった…かな!?

2月29日、コウノトリと豊岡の魅力を伝える環境学習授業を、小坂小学校（出石町鳥居）で、1・2年生36人を対象に開催しました。

授業では、児童文学作家のキム・ファンさんが、人形劇で韓国の昔話をした後、コウノトリ野生復帰までの豊岡での取組みを、紙芝居で分かりやすく伝えていました。

キムさんにさまざまな質問をした児童らは、コウノトリが生息する豊岡は、人にも優しい環境なんだと実感したことでしょう。

児童らは「野生復帰するまでの大変さが分かった」「くちばしが折れていても長生きしたコウちゃんはすごい」などと話していました。

▲人形劇「けちんぼおやじとトッケビ」に聴き入る児童たち

但東

ぴかりんとあそぼうinTANTO

心も体もぽっかぽか

3月4日、但東市民センターホール（但東町出合）で「ぴかりんとあそぼうinTANTO」が、2年ぶりに開催され、親子約120人が参加しました。

参加者は、「ぴかりん」こと、つながりあそび・うた研究所所長の二本松はじめさんの歌に合わせて、親子でにらめっこをしたり、お互いの体をくすぐったりして、触れ合いを楽しんでいました。

参加した元井深香さん（九日市下町）は「初めて参加しましたが、子どもと一緒に体を動かすことができて、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。

▲ぴかりんの歌に合わせてつながり遊びを楽しむ参加者ら